

7月1日開院 新しい市立病院

新しい彦根市立病院は、高度で専門的な医療を提供し、市民が安心して治療を任せられる病院として、いよいよ7月1日オープンします。



目指すのは 住みなれた地域で健康をささえ、 安心とぬくもりのある病院 です

湖東地域の中核病院にふさわしい機能を備えるため、旧県立短期大学の敷地（約8万㎡）に移転新築された新しい彦根市立病院。総病床数は470床（現病院は346床）、外来診療科は、新たに心療内科、形成外科を加えた18診療科です。

「住みなれた地域で健康をささえ、安心とぬくもりのある病院づくり」を基本構想に、機能を充実しました。

まず、放射線治療装置、体外衝撃波結石破碎装置など、高度で先進的な医療を提供できるよう最新医療機器を多数導入しました。また、医療情報システム（オーダーリングシステム）の導入により、患者さんの待ち時間の短縮を図ります。さら

に、地域医療連携室の設置により、病院と診療所、また、病院相互の連携を推進し、地域に開かれた病院を目指します。

一方、建築物には地震に強い免震構造を採用するなど、災害時の拠点病院としての機能も兼ね備えています。

そして、びわ湖や周りの山々が一望できる設計、クリーンエネルギーの採用など、人と自然の環境に配慮した施設となっています。

なお、売店、レストラン、理容室などの施設も設けています。気軽にご利用ください。

（市立病院移転新築事業には簡易生命保険の積立金が還元融資されています。）

新病院市民見学会

日時 6月22日(土) 14:00～16:30
同 23日(日) 10:00～14:00

自由参加制 自由に院内を見学いただけますので、事前にお申し込みいただく必要はありません。

駐車場の混雑が予想されます。乗用車でお越しの場合は、できる限り乗り合わせてお越しください。また、路線バスもご利用ください。

バス：南彦根駅・彦根駅から県立大学線「県立短大正門前」下車すぐ

外来・救急診療を休診

休診日 6月27日(木)～30日(日)

集中的に移転作業を行うため、すべての外来診療を休診させていただきます。また、検査・手術機器を移設するため、救急診療も休診させていただきます。

この4日間は、入院患者さんのお見舞いもご遠慮ください。

問い合わせ先
病院総務課 ☎22-6050（内線357）
FAX26-0754

7月1日、待望の新病院の開院を市民の皆さんとともに迎えられることを、たいへんうれしく思います。

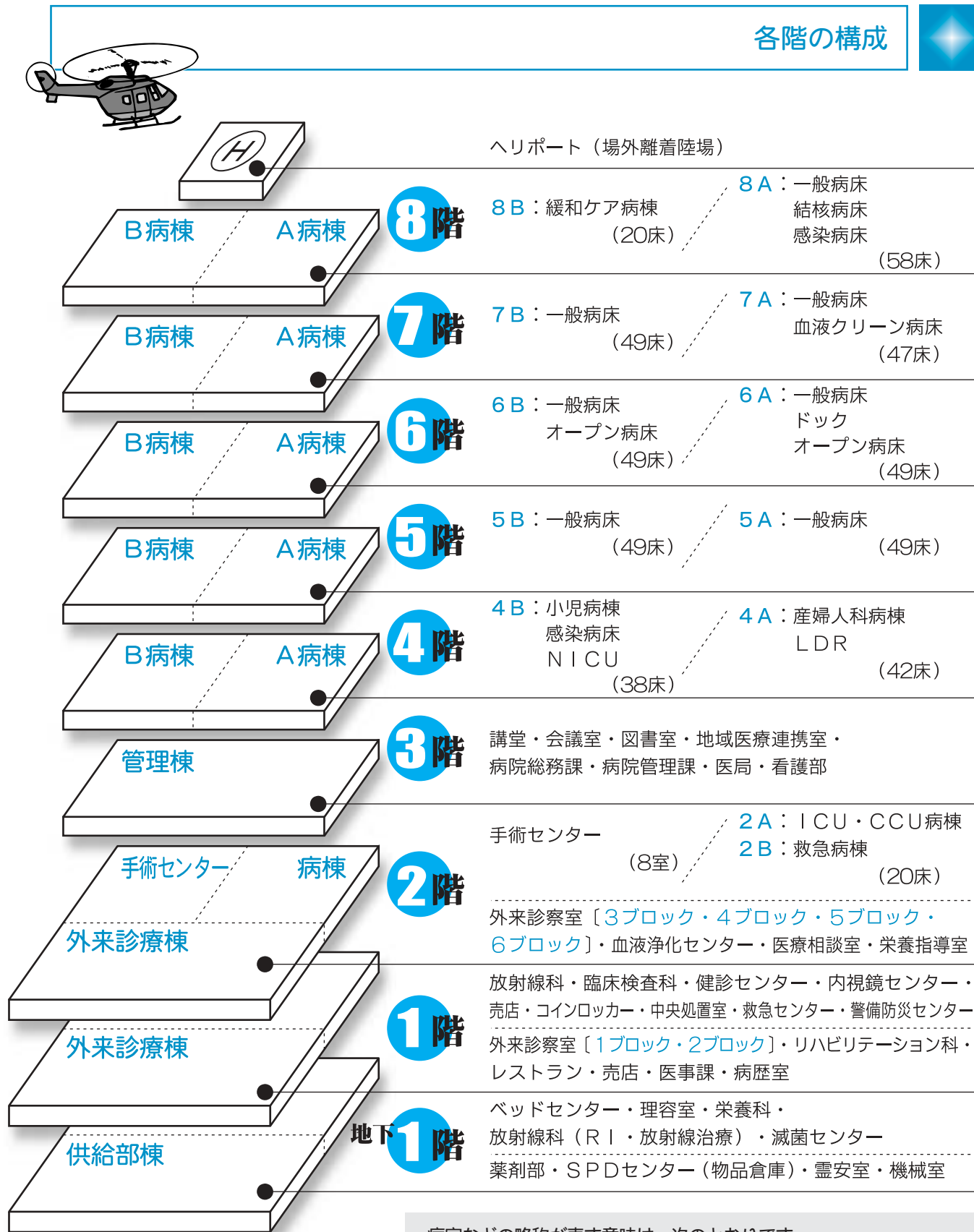
彦根市立病院は、明治24年（1891）に公立彦根病院として開設されました。111年の歴史と伝統のある病院ですが、敷地は手狭で拡張幅余地もなく、また度重なる増改築を経た施設は老朽化が進んでいます。そこで、市の人口重心に近いびわ湖岸に移転新築し、彦根市民をはじめとする湖東保健医療圏域16万6千人の健康と命を守る病院、災害時の拠点病院、地域に開かれた高度医療を担う地域中核病院として新たに生まれ変わることになりました。

お礼を申し上げます。新病院の建設に当たりましては、診療内容の充実、専門化と機能の充実に努めました。また、施設面においても、建築物には震災時にも病院機能を維持できるよう免震構造を取り入れたほか、緊急時用のヘリポートや自家発電装置の設置により災害時の防災拠点病院としての機能も備えています。また、建築物の形態、色彩などには極力省エネ化に配慮したほか、太陽光発電・太陽熱利用システムの採用や、雨水や雑用水のトイレ洗浄水への利用など、環境に配慮した人と自然にやさしい病院を目指しています。

新しい市立病院が、病院・診療所相互の密接な連携のもと、地域の中核病院として市民の皆さんの信頼と期待にこたえられるよう、その機能をしゅつぶん發揮してまいりたいと考えています。なおいつそのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市民の信頼と期待にこたえる病院に 彦根市長 中島 一

各階の構成



病室などの略称が表す意味は、次のとおりです。

- ICU (Intensive Care Unit) 集中治療室
- CCU (Coronary Care Unit) 冠動脈疾患集中治療室
- HCU (High Care Unit) 高度治療室
- NICU (Neonatal Intensive Care Unit) 新生児集中治療室
- LDR (Labor, Delivery, Recovery) 陣痛、分娩、回復に対応できる部屋

外来診療棟（1階・2階）の平面図は、11ページに掲載しています。自転車置き場や駐車場の配置については、12ページに掲載しています。

新病院の概要

建築概要

所在地	彦根市八坂町1882番地
敷地面積	50,245.48㎡
延べ面積（建物）	37,721.70㎡（職員住宅等は含まず）
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地下1階・地上8階・塔屋2階

施設概要

病棟	11病棟
病床	470床 一般456床（うち緩和ケア20床、ICU・CCU・救急20床）
結核	10床
感染症	4床
一般病室	特別室6室、個室90室、4床室77室、HCU(2床室)7室、HCU(1床室)4室、NICU6床
緩和ケア病室	特別室2室、個室18室
ICU・CCU病室	8床
結核病室	個室2室、4床室2室
感染症病室	個室4室

外来診療科 18科

内科、呼吸器科、神経内科、心療内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、脳神経外科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、形成外科、麻酔科、放射線科、歯科口腔外科、リハビリテーション科

その他 手術室8室、分娩室(LDR)3室、臨床検査部門、放射線部門、血液浄化センター、NICU、リハビリテーション部門、内視鏡センター、地域医療連携室、健診センター など

駐車場 約700台

震災対策

免震構造	高い耐震性能を確保し、病院機能が維持できるように免震構造を採用
備蓄倉庫	医薬品、医療用ベッドなどの保管スペース設置
エネルギー	ガス、電気(自家発電装置)、油の複数化と、大型貯油槽の設置
医療ガス	外来待合、会議室などに医療ガス設備の設置
ヘリポート	屋上に災害時対策、緊急搬送用として設置(場外離着陸場)

地域の皆様から信頼され、親しまれる病院を目指して 院長 赤松 信

各方面にわたる多くの皆様方のご理解とご協力により、長年の念願でありました新病院が立派に完成し、予定どおりに開院できますことを心から感謝申し上げます。同時に、私たち職員に寄せられた期待の大きさ、責任の重大さに身の引き締まる思いがいたします。

さて、新病院の建設にあたりましては、患者さんにとって利用しやすい施設、快適な療養環境を可能な限り追求しました。外来は、新たに心療内科と形成外科を加え18科とし、救急センターや健診センターの充実も図りました。1階と2階に6か所

の外来ブロック受付を配置し、待ち時間短縮のために大部分を予約制といたしました。また、総合的なコンピュータシステムの導入により、正確で迅速な診療情報の伝達と活用が可能となります。

病棟には、緩和ケア病棟、ICU・CCU・救急病棟などを設け、重症の患者さんや救急患者さんの対応に万全を期すとともに、デイホールや家族控室などはびわ湖が間近に望める、明るく安らぎのある空間を確保しています。

また、放射線治療装置、結石破砕装置などの最新医療機器を導入して高度な医療を

実現する一方、他の医療機関との連携をより密接なものにするため地域医療連携室を設置し、地域に開かれた病院を目指したいと考えています。

新しい市立病院が、高い医療レベルと温かなサービスを提供できるよう、職員一人ひとりが準備を進めてまいりました。「住みながら地域で健康をささえ、安心とぬくもりのある病院」の基本構想のとおり、市民の皆様から信頼され、親しまれる病院に育てあげるため、今後も努力を重ねてまいります。従来にもまして、いつそのご支援をお願い申し上げます。



診療機能の紹介



地域に開かれた病院で、より高度で先進的な医療を提供します

医療技術の急速な進歩や少子高齢化の進行などの社会情勢により、病院を取り巻く環境は大きく変わってきました。市立病院も、地域の中核病院として、より専門的で高度な医療の提供とともに、地域の医療機関との連携も求められています。

形成外科は、見た目の異常を治療対象としています。例えば、あざ、ホクロの除去、顔面骨の骨折の治療、腫瘍切除や外傷による顔面骨の骨折の部分（乳房、耳、鼻、義眼床など）の再建、切断された指の再接着などを行います。

吸などの治療については、患者さんやご家族と相談して決めることにしています。緩和ケア科では、医師、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士、理学療法士などのスタッフがチームを組み、患者さん一人ひとりにあったケアを行います。病棟は、びわ湖を望む全室個室で、キッチン、サンルーム、浴室、家族室（和室）を備えて家庭の雰囲気でも過ごせるようになっています。少しでも苦痛が少なく、自分らしい生活を送る手助けをしていきます。

新たに開設した診療科・病棟など

心療内科

心療内科ってご存知ですか？

「身体がだるい」、「めまいがする」、「動悸がする」、「頭が痛い」、「食欲がない」、「お腹が痛い」、「体重が減った」、「眠れない」といった症状で病院を受診したけれど、検査をしても異常がありませんと言われたことはありませんか。自律神経の働きが乱れて身体器官の機能が失調をきたしている場合に、このような

症状が出てくる場合があります。また、甲状腺機能異常や副腎機能不全などホルモンのバランスに異常がある場合や、不安やうつが持続することによる脳の慢性的な疲労が潜んでいる場合にも、このような症状が出てくるのが知られています。このような症状に対して、心療内科では心と身体の両面からアプローチして治療していきます。

形成外科

治療は患者さんとともに

形成外科は、比較的新しい診療科であるためか「何をすればいいのかよくわからない」、「整形外科とはどう違うの」などの声をよく聞きます。

緩和ケア科 緩和ケア病棟

がん末期のつらい症状をやわらげ、やすらかに過ごすために

緩和ケア科は、主にがん末期などで治療が望めなくなった患者さんに対して、痛みや苦しみなどの症状をやわらげるケアをするところです。不安や悩みなど精神的な問題についても援助します。治療を目的とした手術や化学療法は行いませんが、人工呼吸



部署の名称が一部変わります

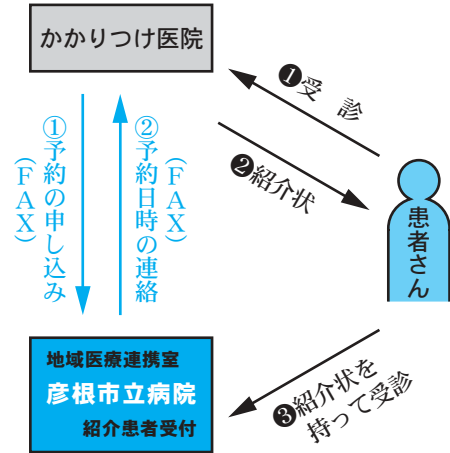
新病院では、部署の名称を一部変更します。主なものは、次のとおりです。

- 人工透析室 → 血液浄化センター
- 救急外来 → 救急センター
- 内視鏡室 → 内視鏡センター
- 中央手術室 → 手術センター
- ナースステーション → スタッフステーション

地域医療連携室

地域に開かれた病院へ

地域医療の充実のためには、医療機関が役割分担しながら密接に連携することが大切です。近所のかかりつけ医院と市立病院が連携して患者さんに関する情報交換を迅速に行い、治療に生かす窓口として「地域医療連携室」を開設します。診療予約を受け付けたり、診療所からあらかじめ患者さんの情報を得て初診の前にカルテ作成を済ませたりすることで、診断・治療を素早く行うことができます。また、入院が必要になったとき、開放型病床（オープン病床）を利用して、診療所の医師にも継続して診てもらうことができます。地域医療連携室の具体的な業務と受診の流れは、次のとおりです。



- 《地域医療連携室の主な業務》
- ・ 紹介患者さんの診察・検査予約受付
 - ・ 医療機器の共同利用予約受付
 - ・ 開放型病床の利用予約受付

充実した救急医療・健診部門

救急センター・救急病棟

救急疾患に対して的確・迅速な検査・診断・治療を提供

救急センターは、診療時間外（平日の夜間・土・日曜日、祝日など）に来院した患者さんの窓口です。内科系、外科系の医師それぞれ1人が対応します。レントゲン検査、心電図、採血、検尿など、必要な検査はすべて緊急に行うことができます。また、専門医の診察が必要な場合には、内科（消化器、循環器）、外科、整形外科、小児科、産婦人科、脳神経外科、神経内科などの待機医師が診察に当たります。

健診センター

健康について考えてみましょう

何よりも大切な健康。新病院では、病気の治療だけでなく、病気を予防し、健康を維持し、さらには健康をもっと増進してもらえよう、皆さんのお手伝いをするのも大切な役割と考えています。健診業務には、最新の機器、設備を利用して、高度な技術を駆使して、診療の第一線で活躍しているエキスパートたちが当たります。

お知らせとお願い

診察券

自動再来受付機で受付できますので、来院時には必ず診察券をご持参ください。ただし、使えるのは4月1日から交換させていただいている紫色の診察券だけです。

旧来の緑色の診察券は使用できませんので、あらかじめ交換ください。（現病院でも交換できます。）

診察受付

初診・再診ともに受付は、8:30~11:00です。ただし、予約診は16:30までです。

見舞時間

13:00~20:00です。ただし、ICU・CCU病棟は14:00~15:00です。

各病棟スタッフステーションで手続きをしてください。

喫煙

病院内は、指定場所（1階、2階の喫煙コーナー）以外はすべて禁煙です。ご協力ください。

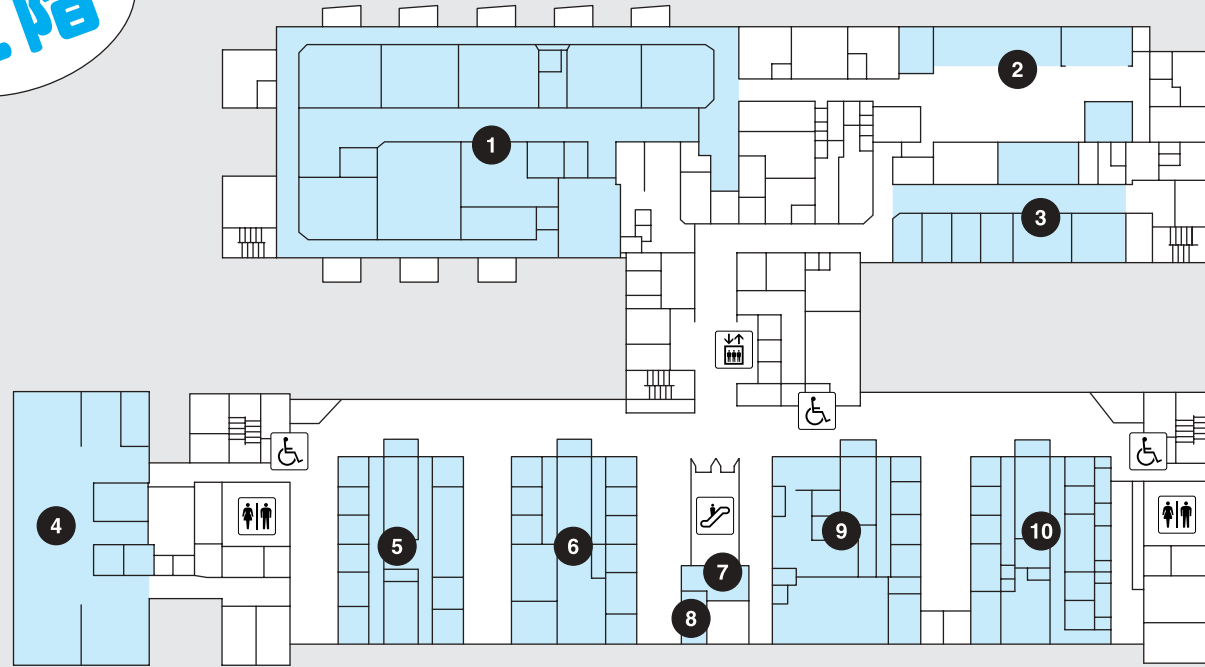
開院当初の混雑について

新病院開院当初は、院内各所で混雑が予想されます。待ち時間が長くなることも考えられますが、ご理解とご協力をお願いします。

健診には、まず総合的健診があり、これには、一般健診、日帰りおよび宿泊人間ドックの3種類があります。特殊な検診としては、骨密度検診、脳ドックもあります。がん検診としては、乳がん検診、消化器検診があります。このほかに定期健康診断など各種の健康診断や予防接種を行います。内容によっては、各診療科に直接申し込みが必要なきもありません。お問い合わせ、ご相談など気軽に電話してください。問い合わせ先 健診センター ☎26054 番（直通）【7月1日（月）から】受付時間（電話）月～金曜日の午後1時から午後5時（祝日は除く）

1階・2階平面図

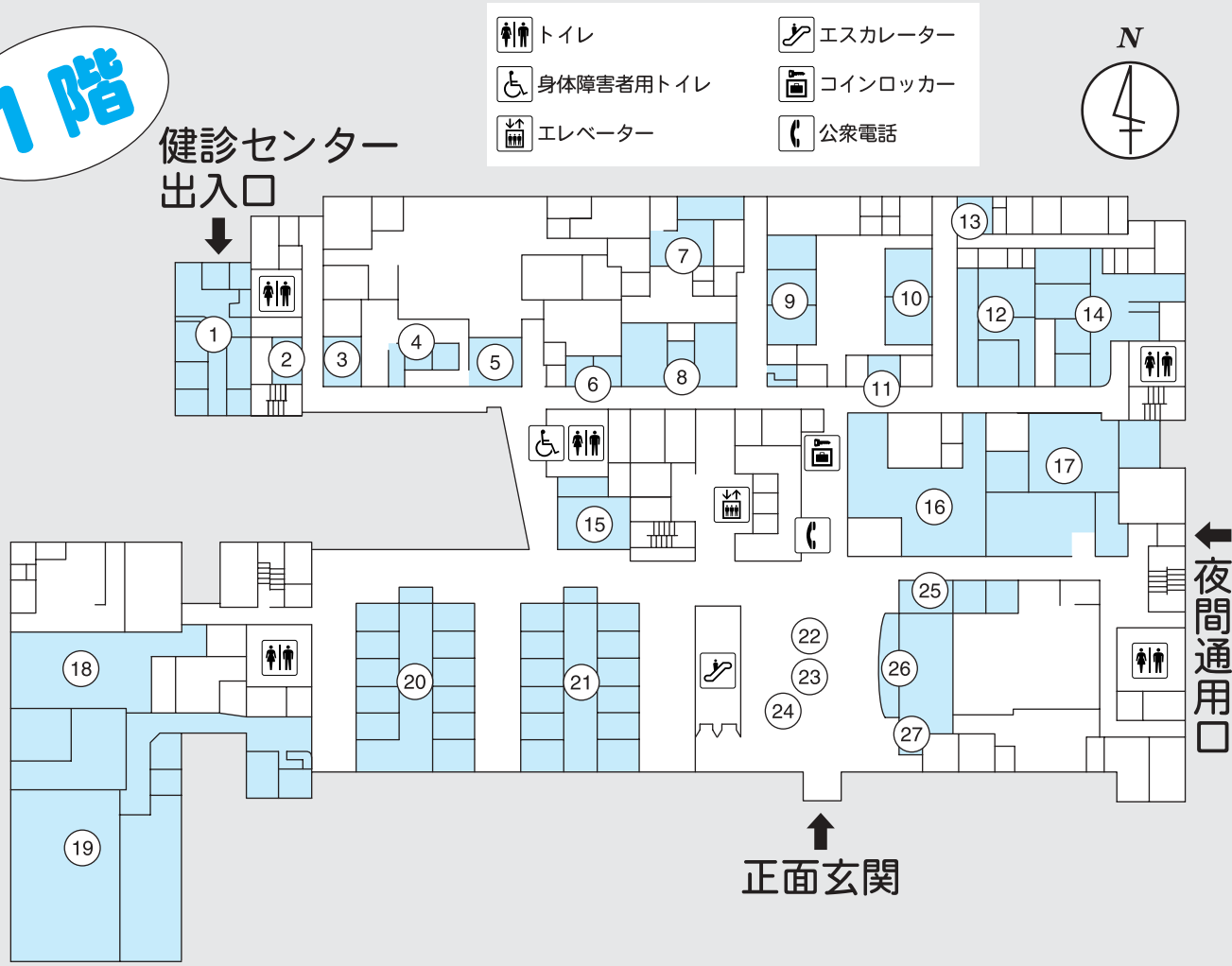
2階



2階にある部署

- 1 手術センター
- 2 ICU・CCU病棟
- 3 救急病棟
- 4 血液浄化センター
- 5 3ブロック（呼吸器科・皮膚科・形成外科・心療内科・緩和ケア科）
- 6 4ブロック（外科・泌尿器科・麻酔科）
- 7 栄養指導室
- 8 医療相談室
- 9 5ブロック（眼科・耳鼻いんこう科・歯科口腔外科）
- 10 6ブロック（小児科・産婦人科）

1階



1階にある部署

- 1 健診センター
- 2 脳波室
- 3 心エコー室
- 4 心電図室
- 5 採血室
- 6 検尿トイレ
- 7 MR室
- 8 血管連続撮影室
- 9 一般撮影室
- 10 CT室
- 11 エコー室
- 12 X線TV室
- 13 結石破砕室
- 14 内視鏡センター
- 15 売店
- 16 中央処置室
- 17 救急センター
- 18 レストラン
- 19 リハビリテーション科
- 20 2ブロック（整形外科・脳神経外科・神経内科）
- 21 1ブロック（内科）
- 22 院外処方案内
- 23 案内
- 24 自動再来受付機
- 25 会計窓口
- 26 中央受付
- 27 総合案内

外来診療システム

新病院では、受付から診察室、診察室から検査部門などへ、患者さんの先回りをして情報が届くシステムを導入します。このことで、診察や検査がより速く正確に行われるようになるなど、いっそうサービスを充実させます。



▲自動再来受付機

予約診療制
予約した時間にお越しただければ、スムーズに診療が受けられます（多少お待たせすることもあります）。

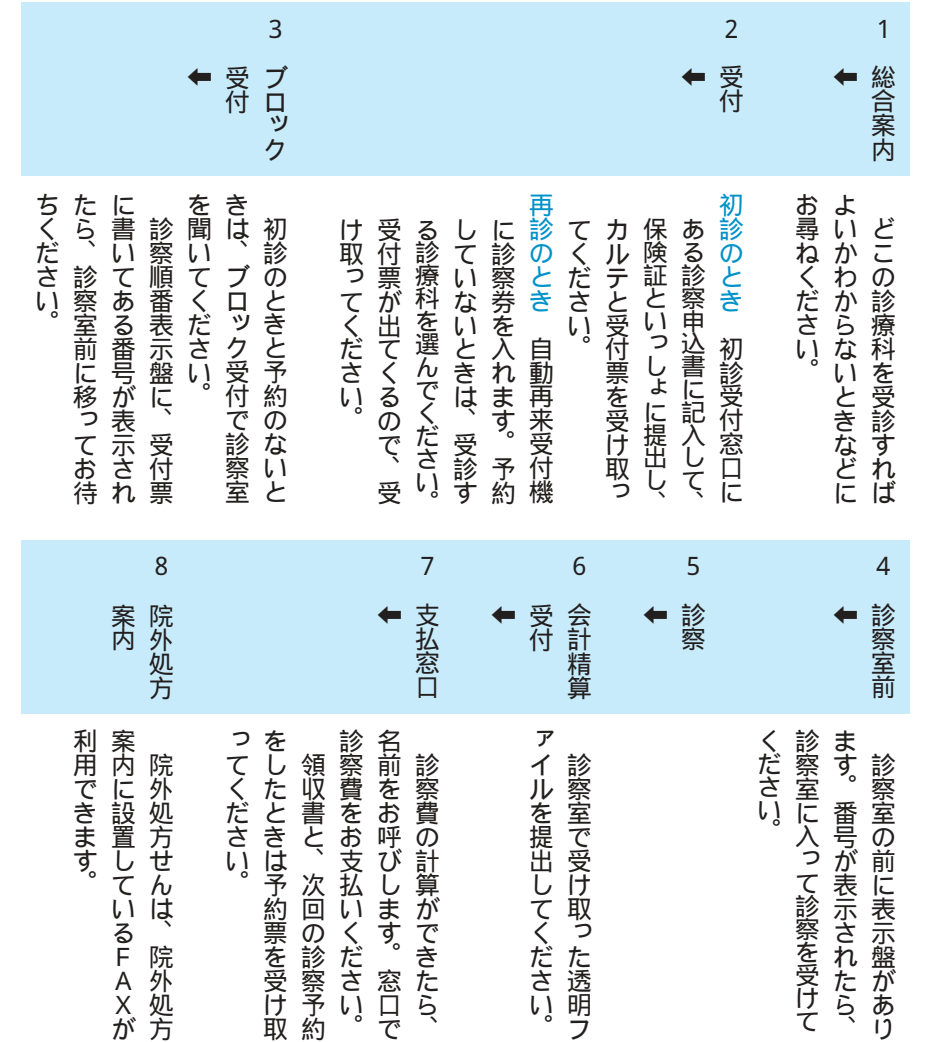
自動再来受付機
再診患者さんは、自動再来受付機で受付します。

付機で受付します。受付が終わると、受付票を発行すると同時に外来診療科に情報が送られ、カルテが事前に準備されます。

診察順番表示盤
診察の順番を番号で表示するので、あとどれくらいで診察を受けられるかが分かります。

診察室前表示盤
診察室への呼び込みは、診察室前の表示盤に番号を表示することで行います。名前を呼ぶことをできるだけ少なくし、プライバシーの確保に努めます。

来院～診察の流れ



新しい市立病院 ● 特集

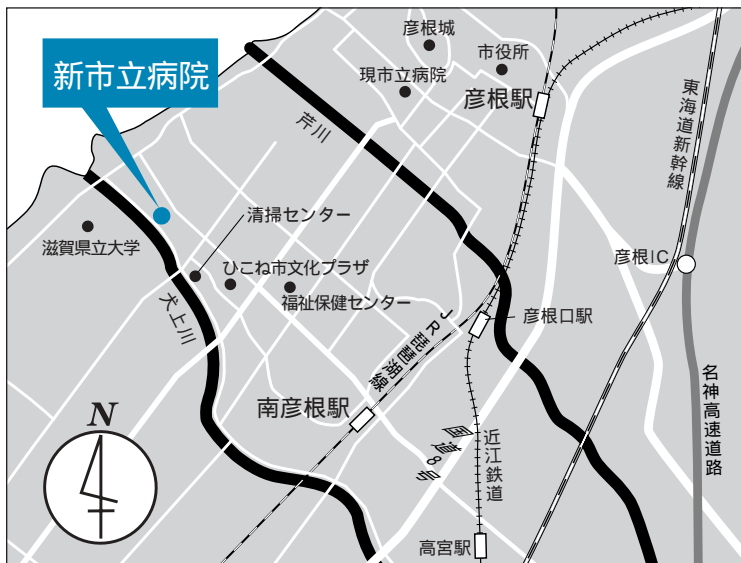
交通の案内

車で（外来駐車場約400台・無料） 自転車・バイクで（自転車置場約80台・無料）
 路線バスで（7月1日(月)から次の6路線が運行予定です）

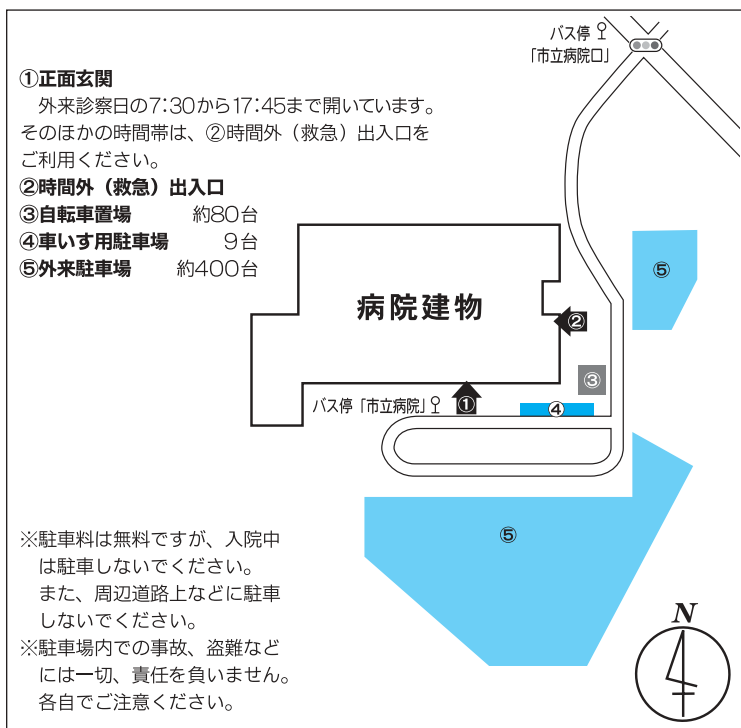
所要時間：彦根駅から約20分、南彦根駅から約10分

- 【三津屋線】彦根駅ー銀座ー松田団地ー市立病院ー開出今ー三津屋ー柳川緑地公園
- 【日夏開出今線】彦根駅ー本町キャッスルロードー松田団地ー市立病院ー松田団地ー日夏ニュータウンー河瀬駅西口
- 【彦根ニュータウン線】彦根駅ー本町キャッスルロードー金城幼稚園口ー老人ホーム前ー市立病院ー老人ホーム前ーひこね市文化プラザー南彦根駅西口
- 【県立大学線】彦根駅ー銀座ー大敷ー市立病院ー松田団地ー南彦根駅西口
- 【城北循環線】彦根駅ー近江高校ー松原橋ー大敷ー市立病院ー平田小学校ー銀座ー彦根駅
- 【稲枝市立病院線】稲枝駅ー聖泉短大前ー三津ー安食中町ー河瀬駅東口ー葛籠町ー広野会館ー南彦根駅東口ー市立病院

周辺図



敷地内配置図



テレビ広報ひこね

「彦根市立病院
 移転新築オープン」

放送日 6月30日(日) 18:00~18:30
 (再) 7月6日(土) 18:00~18:30
 放送局 びわ湖放送

7月1日の開院に向けて着々と準備が進む新しい市立病院。最新の設備機器や、便利になる受診方法などを紹介します。

彦根市立病院

〒522-8539 彦根市八坂町1882番地
 ☎22-6050（代表）FAX26-0754

電話・FAXの切り替えについて
 電話・FAX番号は、移転後も現在と変更ありません。

電話・FAXの切替作業は、6月29日(土)に行います。上記の番号にかけていただくと、同日午前中は現病院につながり、午後は新病院につながります。ただし、切替作業のため一時つながることがありますので、あらかじめご承知ください。